

富岡駅一夜ノ森駅トレイルウォークまとめ

Summary of the Trail Walk : Tomioka Station to Yonomori Station

佐々木大記 Daiki Sasaki

NPO法人福島ダイアログ **NPO Fukushima Dialogue**

office@fukushima-dialogue.jp



NPO Fukushima Dialogue

第27回福島ダイアログ
The 27th Fukushima Dialogue
7th December 2025

昨日歩いたトレイルルート 富岡駅一夜ノ森駅



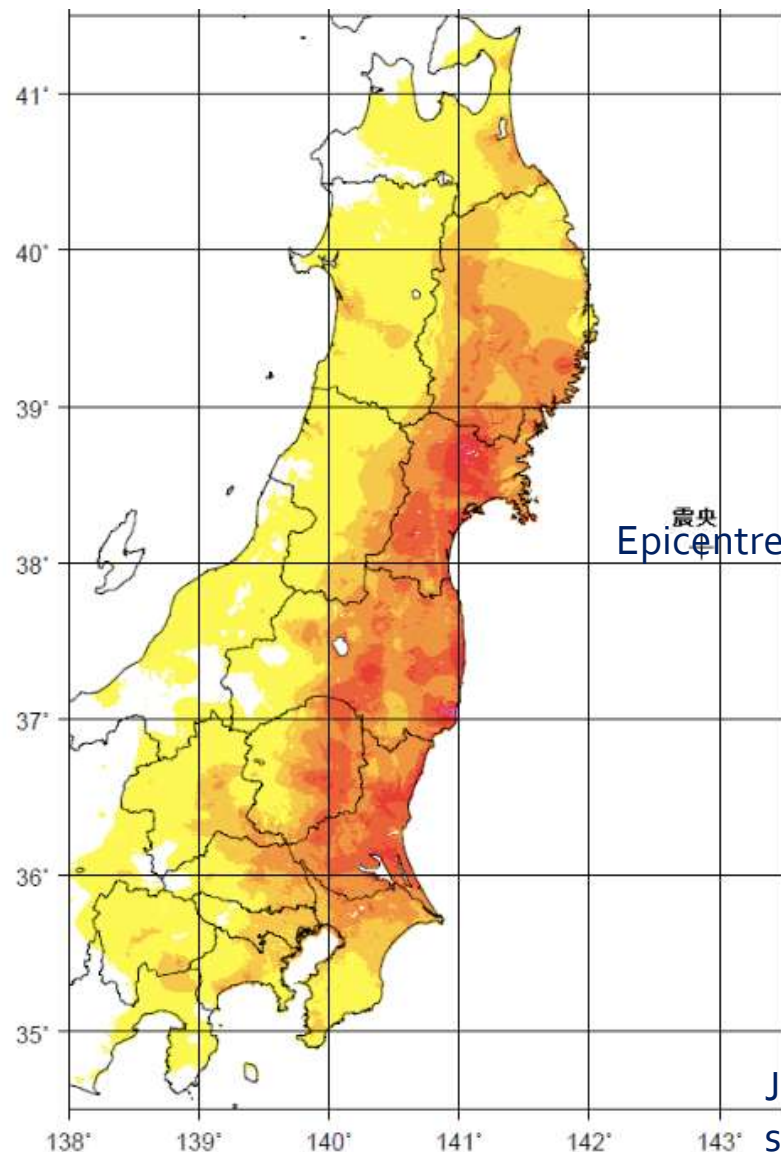
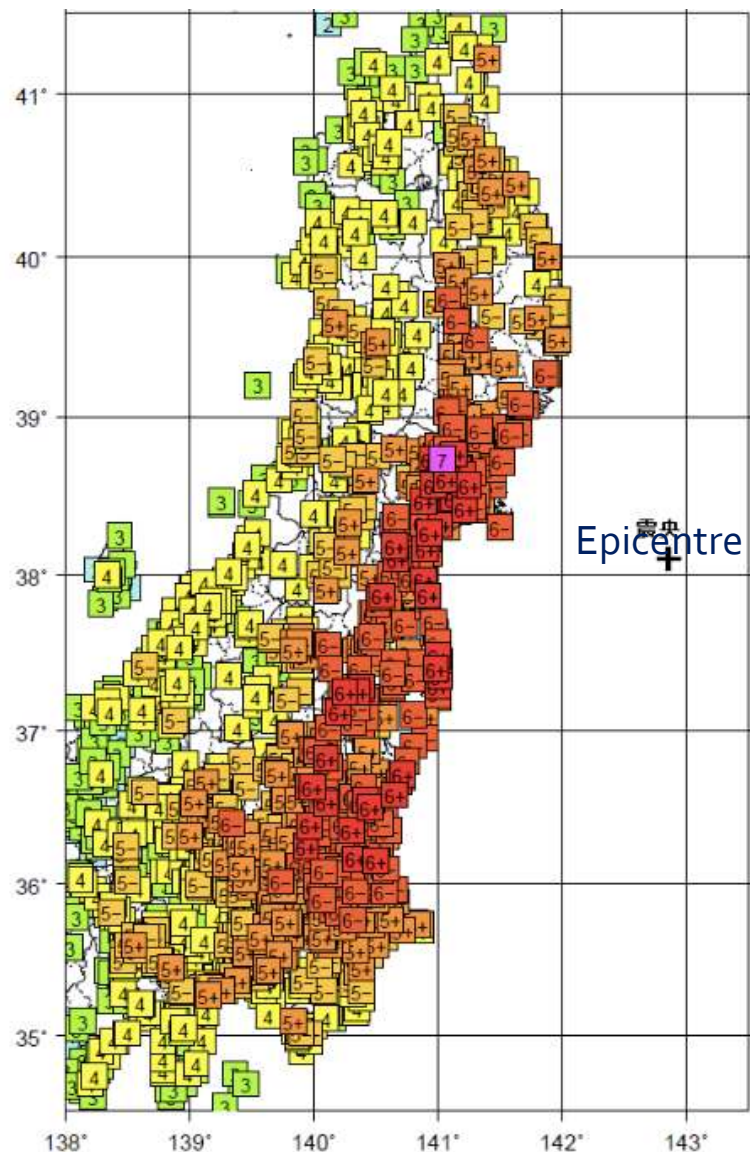
11時40分頃 富岡駅出発





東日本大震災・原発事故・避難指示・解除

2011/03/11 14:46 東北地方太平洋沖地震 M9.0



＜推計震度分布図利用の留意事項＞
地震の際に観測される震度と、推計震度とは、地盤の違いなどにより1階級程度の差が生じます。
また、このほか震度を推計する上で、推計された震度と実際の震度とが一致しない場合があります。
このため、個々のメッシュの震度を、大きな震度の面的な分布としてご利用下さい。

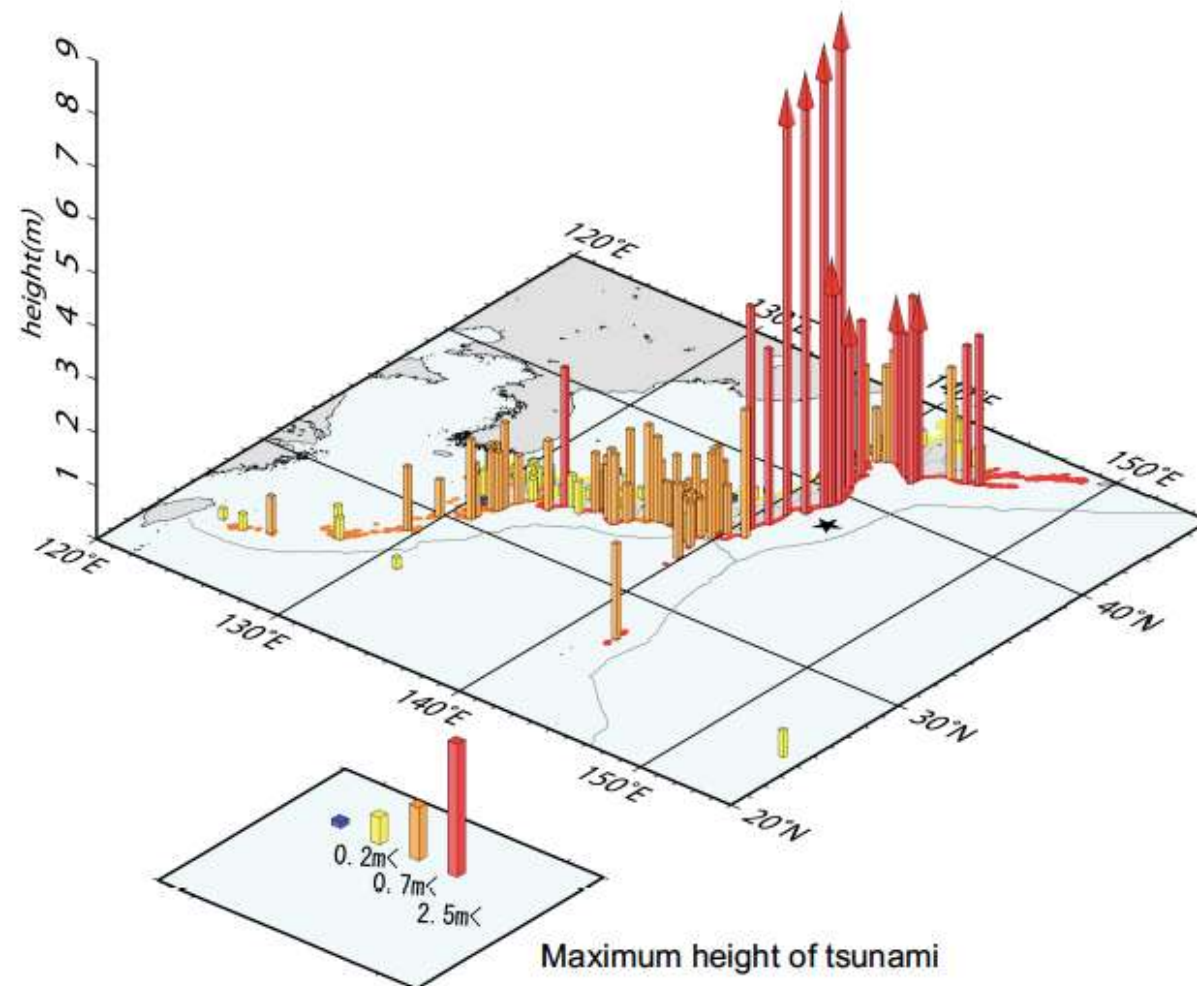
凡例	
7	震度 7
6+	震度 6 強
6-	震度 6 弱
5+	震度 5 強
5-	震度 5 弱
4	震度 4
3	震度 3
2	震度 2
1	震度 1

JMA seismic scale

觀察津波高

The 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake

Observed Tsunami



富岡町最大





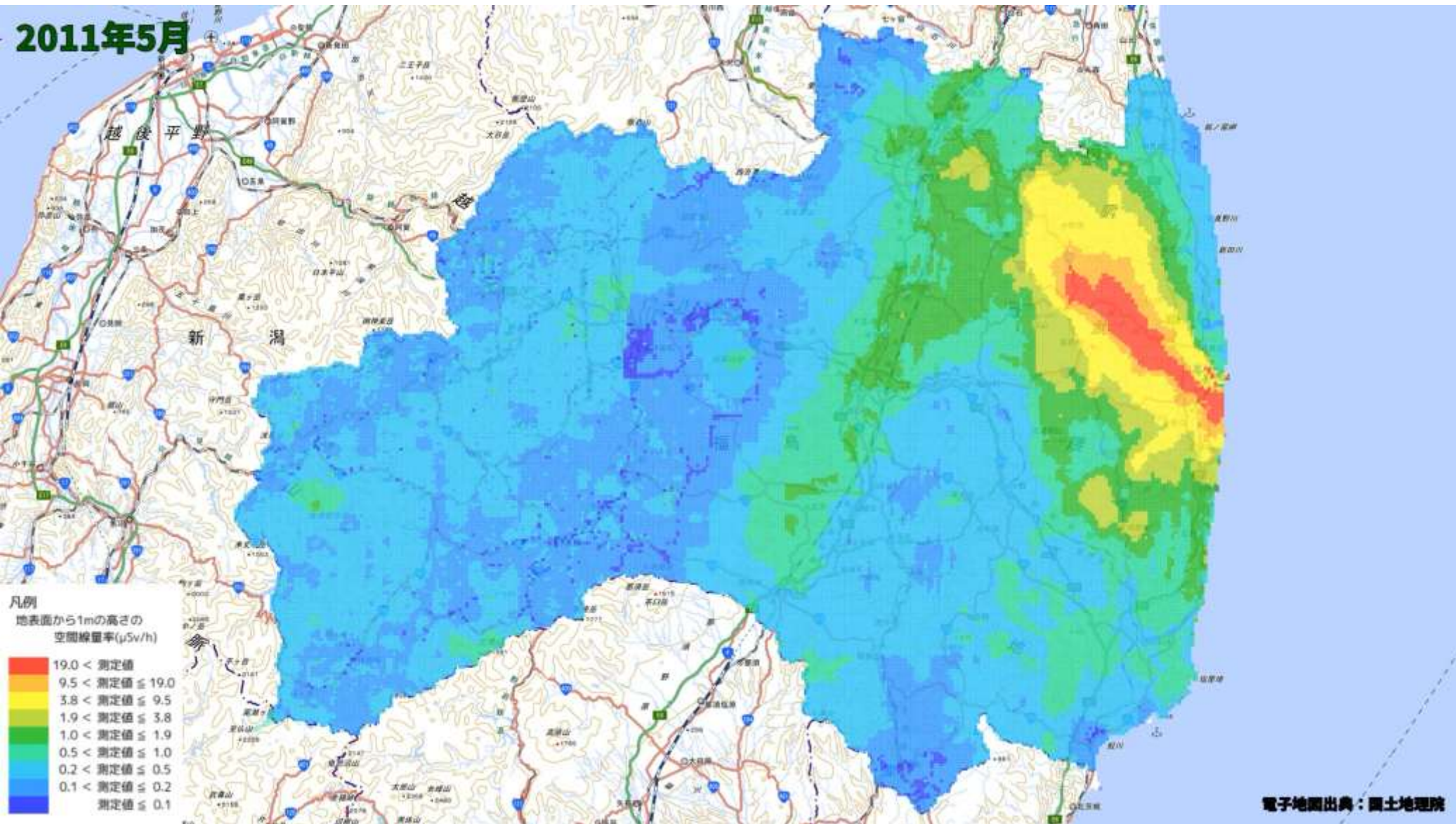
富岡漁港







2011年～2021年 10年間の放射線量の推移



2011～13年8月 避難指示の発令と区域再編



2011

3/11		半径3km	避難指示
12	05:44	半径 10km	避難指示
	06:25	半径20km	避難指示
16	11:01	半径20-30km	屋内退避
4/22		区域再編	
		計画的避難区域	
9/30		屋内退避区域解除	

2012

4/1～		区域見直し	
		避難指示解除準備区域	
		居住制限区域	
		帰還困難区域	

2013

8/8		区域見直し終了	
-----	--	---------	--

2014年4月からの避難指示解除の基準

避難指示解除の3要件

- ① 空間線量率で推定された年間積算線量が20ミリシーベルト以下になることが確実であること
- ② 電気、ガス、上下水道、主要交通網、通信など日常生活に必須なインフラや医療・介護・郵便などの生活関連サービスが概ね復旧すること、子どもの生活環境を中心とする除染作業が十分に進捗すること
- ③ 県、市町村、住民との十分な協議

- 避難指示解除の基準は事故前には存在しなかった
- 平成23年12月26日原子力災害対策本部「ステップ2の完了を受けた警戒区域及び避難指示区域の見直しに関する基本的考え方及び今後の検討課題について」

2013～17年 計画的避難区域・居住制限区域の避難指示解除



2014

4/1	田村市都路地区	避難指示解除準備区域
10/1	川内村一部	避難指示解除準備区域

2015

9/5	楢葉町全域	避難指示解除準備区域
	区域再編	

2016

6/12	葛尾村	避難指示解除準備区域
6/14	川内村一部	避難指示解除準備区域
7/12	南相馬市	避難指示解除準備区域 居住制限区域

2017

3/31	川俣町山木屋 浪江町 飯舘村	避難指示解除準備区域 居住制限区域
4/1	富岡町	避難指示解除準備区域 居住制限区域

2019/ 2021年～ 特定復興拠点の解除



2019

4/10 大熊町の一部 避難指示解除準備区域
居住制限区域

2020

3/10 双葉町の一部 特定復興再生拠点内
大熊町の一部 (東京五輪)
富岡町の一部

2022

6/12 葛尾村の一部 特定復興再生拠点内

6/30 大熊町の一部 特定復興再生拠点内

8/30 双葉町の一部 特定復興再生拠点内

2023

4/1 浪江町の一部 特定復興再生拠点内
双葉町の一部

5/1 飯舘村の一部 特定復興再生拠点内

11/30 富岡町の一部 特定復興再生拠点内

2023年6月特定帰還居住区域設置決定

- 帰還困難区域内の拠点区域外において、避難指示を解除し、住民の帰還・居住を可能とする「特定帰還居住区域」制度を創設
- **2020年代にかけて**帰還を希望する全住民の避難指示を解除する

避難指示解除の3要件

- ① 空間線量率で推定された年間積算線量が20ミリシーベルト以下になることが確実であること
- ② 土地活用を行う者等によって、必要な環境整備が実施されていること
- ③ 地元との十分な協議
「特定復興再生拠点区域外の土地活用に向けた避難指示解除について」
(令和2年12月25日 原子力災害対策本部決定)





2023年6月特定帰還居住区域設置決定

- 帰還困難区域内の拠点区域外において、避難指示を解除し、住民の帰還・居住を可能とする「特定帰還居住区域」制度を創設
- **2020年代にかけて**帰還を希望する全住民の避難指示を解除する

避難指示解除の3要件

- ① 空間線量率で推定された年間積算線量が20ミリシーベルト以下になることが確実であること
- ② 土地活用を行う者等によって、必要な環境整備が実施されていること
- ③ 地元との十分な協議
「特定復興再生拠点区域外の土地活用に向けた避難指示解除について」
(令和2年12月25日 原子力災害対策本部決定)

とみおか・アーカイブミュージアム



夜ノ森 桜並木



夜ノ森駅



昨日





・空地が多くてあまり人がいなくて寂しい。津波で流されて空地になっているのかと思ったので、潰してなくなったときいて驚いた。

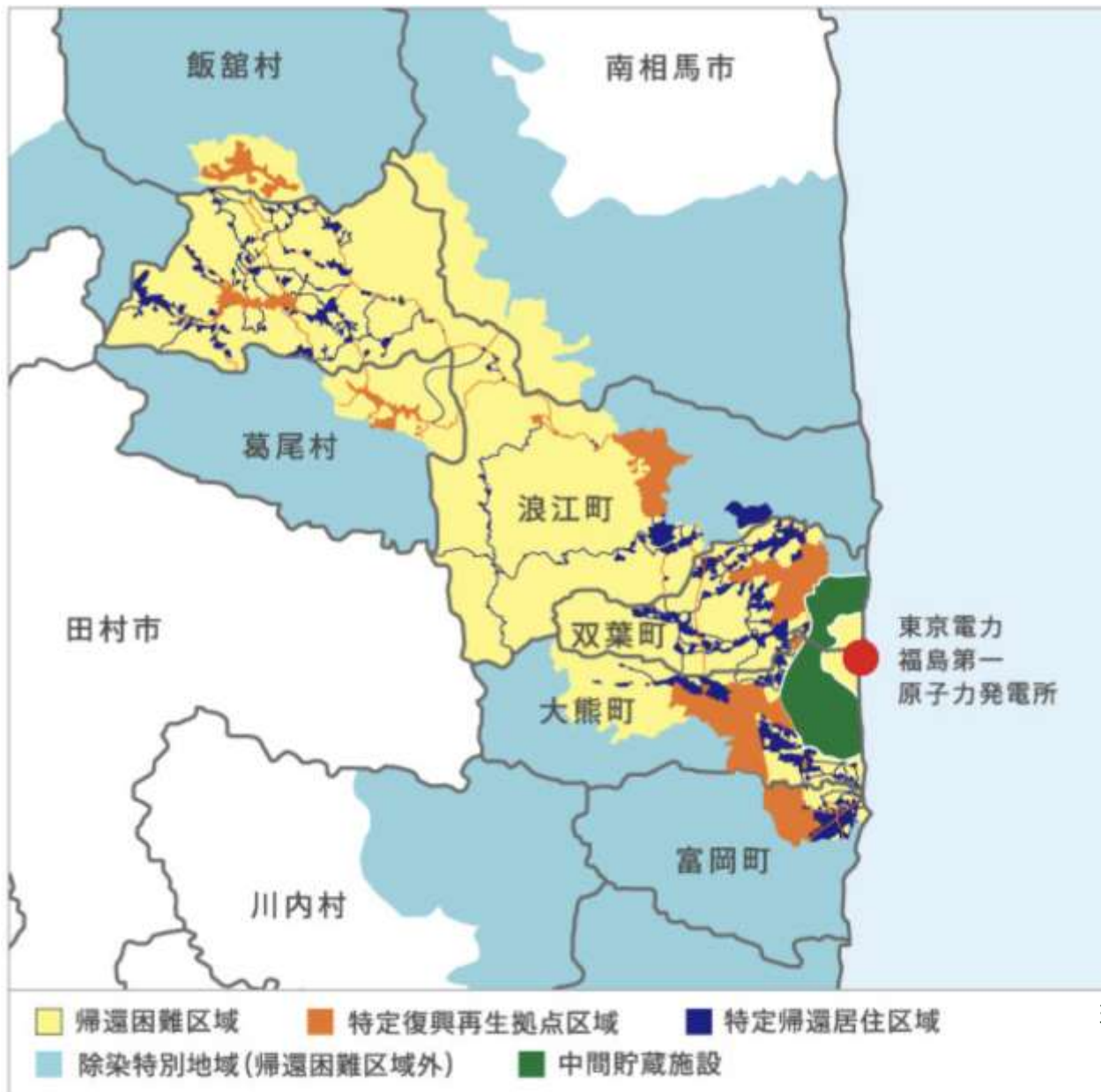
・歩くと景色の見え方が車と全然違う。
改めて歩いてみると、事故があったことをより実感する。

・去年も浜街道トレイルのコースを歩いた。岩手や相馬一八戸と全然違う世界。
今回は地元の人のお話をききながら歩くことができてよかった。

Open Radiation測定結果



特定帰還居住区域



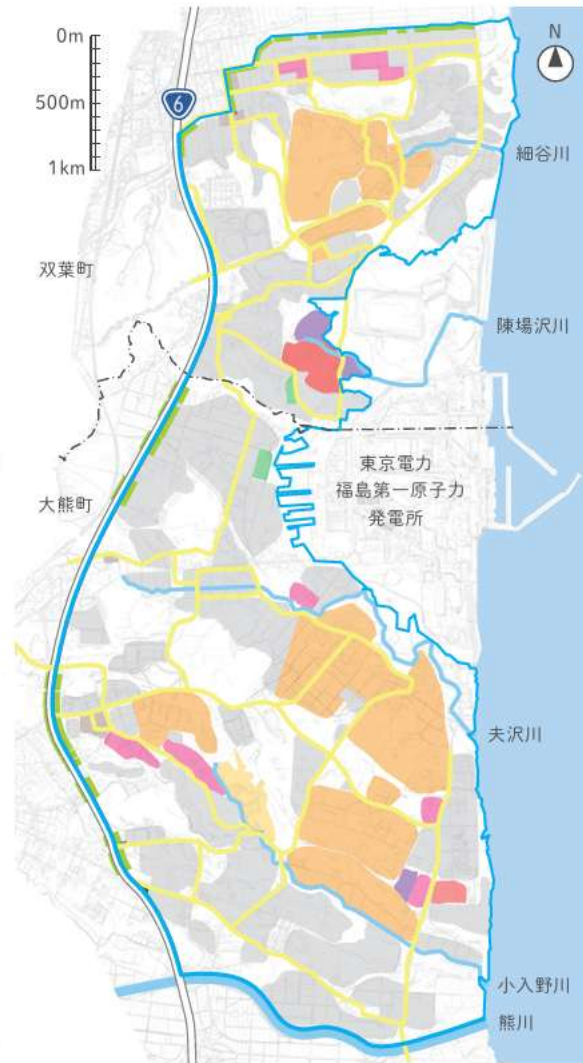
環境省サイトから
<https://josen.env.go.jp/return/>

中間貯蔵施設の現状

環境省：

「除染除去土壌の再利用って何ですか？」

◎中間貯蔵施設とは



- 双葉町・大熊町
- 面積 1600万ha
- 東京電力第一原子力発電所周辺
- 地権者数 約2,100名
- 契約面積 約1,303ha
- 契約件数 1,910件
- うち**地上権設定（賃貸）**
 - ：約246ha (18.9%)
 - ：161件 (8.4%)

環境省：中間貯蔵施設用地の状況
2025年4月7日現在

連絡先：info@fukushima-dialogue.jp



NPO Fukushima Dialogue

info@fukushima-dialogue.jp

<https://fukushima-dialogue.jp>

<https://fukushima-dialogue.jp/en/>

正会員・賛助会員・福島連携会員 募集中
ご入会お問い合わせは会場でもお気軽にどうぞ！